



# 絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年7月21日発行  
No 5 文責 小林

環境

## JAかわにし青年部の皆さんの 農業出前授業

キャリア



11日(月)、JAかわにし青年部の皆さんと帯広市役所農政課の皆さんの、5年生を対象とした農業出前講座が行われました。

1コマ目は、室内で「帯広の農業」について、十勝で獲れる主要作物の写真を提示しながら、丁寧に説明してくださいました。また、子どもたちが飽きないようにクイズ形式で出題するなど、様々な工夫をしてくださっていて、あっという間の1時間でした。

2コマ目は、畑に出て自分達が育てている作物の栽培方法について学びました。作物ご

との専門家が来校してくださっていたので、1種類ずつ丁寧に教えて頂いたり、質問に答えて頂いたりとお忙しいにも関わらず、真剣に子どもたちと向き合ってくださいていることに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。きっと子どもたちも大満足だったと思います。

また、今回は「仔牛」が登場!「全校児童の皆さんにも見せてあげて下さい!」とのご厚意で、休み時間を利用してふれあう時間をとることができました。特に低学年の子どもたちは、大喜び!とてもいい思い出になったと思います。

今年で3年目となりますが、ご協力頂いている講師の皆さんは、「次は、どうしたらよいか?」と、新しいことやより分かりやすい方法を模索してくださっています。それは、子どもたちが真剣に学び、担任の先生方がしっかりと事前指導をしてくださり、そして、何より私達が喜び、感謝していることが伝わっているからだと思います。今回も「また来年は、パワーアップしてきます!」と言ってお帰りになりました。こんな地域の方々とのいい関係が、ずっと続くといいですね……。



私は、農業が大好きです。家では、作物を作る時は、いつも手伝っています。家で作る時、JAかわにし青年部の皆さんに教わったことを生かして、おいしい野菜をたくさん作りたいです!本当にありがとうございました。

(1組女子)

今、社会の勉強をしていて、農家の人が減っていると知り、ぼくは残念に思いました。ぼくは、しょうらい農家の人が増えてほしいなあと思います。

(1組男子)

<一部抜粋>

生後2週間の子牛は、意外にも小さく、とてもかわいい姿でした。触ってみると、ごわごわではなく、ふわふわでとても触り心地が良かったです。この子牛が、もう少しでお肉に変身してしまうのを考えると、「食べ物大切にしよう。」と改めて思いました。

(2組女子)

私の予想では、じゃがいもが一番多く作られていると思ったのですが、残念ながら小麦でした。帯広で一番作られている作物が何なのかずっと疑問でしたが、とてもスッキリしました。

(2組女子)  
<一部抜粋>

私が一番納得したことは、「大変だけどやりがいはある。」ということで、つらいことをしていても、いいことはあるんだなあと思いました。(3組女子)

最後にお話して頂いた「おいしかった。」と一言伝えること。家で夕食を食べた後にお母さんに言うのと、とても喜んでいました。私も嬉しくなりました。農家さんが一生懸命育ててくれたおいしい野菜は、みんなを笑顔にするんだなあと思いました。(3組女子)

<一部抜粋>